

プルデンシャル・グループ
サステナビリティファクトブック 2025
「未来につなぐサステナビリティ」

プルデンシャル・ホールディング・オブ・ジャパン株式会社

イントロダクション

- 07 サステナビリティビジョン
- 08 私たちを取り巻く様々な社会課題
- 09 私たちが大切にしていること
- 10 ESGインテグレーション

気候変動対応への貢献

- 19 グループ環境方針とグループグリーン購入基準
- 20 事業活動全体で取り組む、環境への多角的なアプローチ
- 21 環境に関するデータ

その他

- 29 ESGデータ
- 30 編集方針

高度な倫理観に基づくガバナンス

- 12 サステナビリティ推進体制
- 13 日本のプルデンシャル・グループについて

多様かつ質の高い人材の活躍による人的資本の充実

- 23 人権尊重の取り組み
- 24 社員こそが最大の財産。一人ひとりの成長と健康を支える
- 25 ダイバーシティ & インクルージョン(D&I)

お客さま起点で物事を考え、誠実に寄り添う事業運営

- 15 生命保険について
- 16 お客さま体験の向上に向けた施策
- 17 多様な世代の活躍を支える取り組み

提供価値 / 事業運営に変革をもたらすイノベーション

- 27 提供価値に変革をもたらすイノベーションの創出
- 28 次世代への貢献



プルデンシャル・グループでともに働く障がい者の方が持続可能な未来をイメージして描いた作品です。個性と創造性が表現された作品は、多様性と共生の大切さのメッセージがこめられています。



プルデンシャル・ファイナンシャル共通のコーポレートマークは、ジブラルタ海峡に位置する長さ4.8 km、高さ400 mにもおよぶ巨大な岩山ジブラルタ・ロックを由来としています。時を経ても変わることのない強さ、安定性、専門性、そして革新性を象徴しています。

長期にわたり持続的な発展を続け、未来への責任を果たす。

社員一人ひとりが意識を高めながら、グループ一体となってサステナビリティ経営の推進に取り組んでいきます。

世界最大級の金融サービス機関である米国親会社のプルデンシャル・ファイナンシャルは、2025年に創業150周年を迎えました。1875年の設立以来、経済的な保障と心の平和を世界中の人々にお届けしてまいりました。

1875年

プルデンシャル・ファイナンシャル創業

1875年、プルデンシャル・ファイナンシャルは「プルデンシャル・フレンドリー・ソサエティ」として米国ニュージャージー州ニューアーク市で創業しました。創業の基本理念である「人間愛・家族愛」のもと、週に3セントという保険料で加入できる労働者保険をアメリカで初めて販売し、圧倒的な支持を集めました。



銀行の地下に借りたオフィスで営業を開始

1987年

日本でプルデンシャル生命を創業

創業者の坂口陽史は、社員わずか15人でプルデンシャル生命を創業しました。生命保険のプロフェッショナルであるライフプランナーを通じてお客さまの多様なニーズに応えるオーダーメイドの生命保険をご提供しています。



2001年

ジブラルタ生命 営業を開始

主力のライフプラン・コンサルタントおよび提携する一般代理店を通じて、オーダーメイドの生命保険をご提供しています。全都道府県に営業拠点を構え、とりわけ地方に強い営業基盤と全国的な団体組織との長年にわたる提携関係を強みとしています。

2009年

プルデンシャル・ホールディング・オブ・ジャパン、保険持株会社として事業開始

傘下の生命保険子会社の経営を管理し、リスクや法令遵守などの態勢を整え、当グループの内部統制の実効性確保に努めています。



創業者 故・坂口陽史

2010年

プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命（以下 PGF生命）創業

代理店チャネル専業会社として、死亡保障及び生存保障ニーズにお応えする多様な商品ラインナップから、ビジネスパートナーを通じてお客さまに生命保険をお届けしています。

2012年

新「ジブラルタ生命」としてスタート

ジブラルタ生命、AIGエジソン生命、エイアイジー・スター生命が合併し、新「ジブラルタ生命」が誕生しました。



プルデンシャル 創業150周年

2025年

プルデンシャル・ファイナンシャル 創業150周年

プルデンシャル・ファイナンシャルは2025年に創業150周年を迎えました。世界50カ国以上で生命保険、年金、退職商品および関連業務、投資信託および資産運用を含む幅広い金融商品とサービスをご提供しています。

当グループは、5つの重要テーマを経営の根幹に据え、事業活動を通じて社会課題の解決に挑戦しています。2024年度の主な取り組みと成果をご紹介します。



未来につなぐサステナビリティ

創業150周年を迎えた米国親会社のプルデンシャル・ファイナンシャルは、世界50カ国以上で個人および法人のお客さまに、生命保険、年金、退職商品および関連業務、投資信託、資産運用を含む幅広い金融商品とサービスを提供しています。私たちは企業市民として、環境・社会・経済に関わる様々な課題に向き合い、お客さま一人ひとりや地域社会からの信頼に応えることで、長期的かつ持続的な企業価値の向上に努めてまいりました。

日本では「多様な人々に一生涯の安心をお届けする存在」になることをNorth Star（目指す姿）として掲げ、サステナビリティ経営を”これまで”と”これから”のご契約を永続的に守るための不可欠な取り組みと位置づけています。サステナビリティ経営の推進にあたり、私たちはお客さま、ビジネスパートナー、地域社会、社員といったあらゆるステークホルダーの期待を理解し、その期待に応える価値の創出を目指しています。

2023年7月にはグループサステナビリティ委員会を設置し、サステナビリティ経営の推進体制を強化しました。最初の3年間は、気候変動対応、人的資本、情報開示について優先的に取り組みを進めていきます。これらの取り組みを「サステナビリティファクトブック」としてまとめ、皆さまにご覧いただけることを大変嬉しく思います。当グループは、これからも持続可能な未来の実現に向けて、環境・社会・経済の課題解決に資する取り組みを推進してまいります。



プルデンシャル・ホールディング・オブ・ジャパン株式会社
代表取締役社長

ブラッドフォード・オー・ハーン

未来へ、安心を。人・社会・企業がともに、持続的に成長するために。

「お客さま一人ひとりに経済的な保障と心の平和をお届けする」というミッションを、未来にわたり果たし続けるためにサステナビリティ経営を推進します。実現のため、以下プロセスを経営の根幹に据え、事業活動を通じて社会課題の解決に挑戦することで、ステークホルダーの皆さまのご期待に応えてまいります。



重要テーマの特定

社会と当グループの持続的成長にとって重要なテーマを特定します。



経営への統合

重要テーマを経営の根幹に据え、戦略と一体で推進します。



社会課題の解決

事業活動を通じて、社会課題の解決に貢献します。



ステークホルダーとの対話

社会からの要請を真摯に受け止め、対話を通じて期待を把握します。

「多様な人々に一生涯の安心をお届けする存在となる」ことを North Star（目指す姿）に掲げ、取り組みを進めています。人材による価値創出（人的資本）と資金の長期的活用（財務資本）という、当グループの中核をなす2つのリソースを活かし、私たちを取り巻く様々な社会課題の解決に取り組んでまいります。



少子高齢化

少子高齢化が進むなか、若い世代の保険加入者は減少し、高齢者の医療や介護費用は年々増えています。社会全体の支え手が減少することで、年金や医療制度の持続性への不安が高まると同時に、お客さま一人ひとりにとっても将来の保険料や生活費の負担が重くなるリスクがあります。

私たちは、こうした社会環境の変化を見据え、お客さまの暮らしを長期的に支えるため、グループ各社の強みと創意工夫を活かし、日常にも役立つ価値ある商品・サービスを提供してまいります。

長生きリスク

一般的に、リタイア後の主な収入源は公的年金です。しかし、長生きすることが当たり前になったいま、公的年金だけでは賄いきれない分を、自分の資産から取り崩して補填することで、長生きすればするほど資産枯渇に陥るリスクが高まります。

私たちは、“人生100年時代”を見据え、詳細なライフプランニングと最適な保険設計を通じて、お客さまの安心ある老後をサポートします。

気候変動

気候変動の進行により台風や豪雨などの自然災害が激甚化し、私たちの暮らしを脅かしています。

こうした災害はお客さまの健康や生活基盤に深刻な影響を与えるだけでなく、経済活動にも甚大な被害を及ぼします。

私たちは、万一の際にもお客さまが安心して生活が続けられるよう保険で経済的な備えをお届けするとともに、当グループも温室効果ガスの排出削減に努め、気候変動の影響を少しでも和らげる取り組みを進めていきます。

「お客さま一人ひとりに経済的な保障と心の平和をお届けする」というミッションを、未来にわたり果たし続けるために、サステナビリティ経営を推進します。事業を取り巻く環境や社会からの要請、そしてステークホルダーの皆さまとの対話を通じて、社会および当グループの持続的な成長にとって特に重要な5つのテーマを特定しました。これらを経営の根幹に据え、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献することで、ステークホルダーの皆さまの多様なご期待に応えてまいります。



高度な倫理感に基づくガバナンス

- ・ 生命保険事業者として透明性の高い情報開示・健全な経営



お客さま起点で物事を考え、誠実に寄り添う事業運営

- ・ 多様なお客さまの満足度を支える、お客さま中心な事業
- ・ 保険契約の前後を含む顧客体験全体における顧客志向



気候変動対応への貢献

- ・ 生命保険事業者・機関投資家の二つの観点から、気候変動対応に貢献



多様かつ質の高い人材の活躍による人的資本の充実

- ・ D&I・人権等の社内カルチャーの醸成
- ・ プロフェッショナルたる社員の採用・育成、健康的な環境と定着



提供価値 / 事業運営に変革をもたらすイノベーション

- ・ 新たな付加価値・顧客接点の創出
- ・ 新しい働き方の実現 / オペレーションの効率化

資産運用を通じて持続可能な社会づくりに貢献することは、重要な責任であると考えます。

お客さまからお預かりしている保険料の運用につき、資産特性に応じて環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）の要素を考慮した「責任投資」を推進しています。

ESGの課題を十分に考慮し、社会の持続的な発展に貢献しつつ、お客さまに対し将来にわたって保険金等を確実にお届けすることを目指しています。

具体的には、すべての運用プロセスにおいて、財務情報に加えてESGに関する情報を含む非財務情報を考慮した分析を、投資判断とポートフォリオ・マネジメントに組み入れています。投資分析に組み込まれるESG諸要因の例としては、以下のものが挙げられます。

Environment

環境



Social

社会



Governance

ガバナンス



- 気候変動と温室効果ガス排出量
- 大気、水、土壌汚染
- 生物多様性
- エネルギー管理と効率性
- 有害廃棄物と非有害廃棄物の発生と管理
- 水使用量

- 業務上の安全衛生
- プロセスの安全性
- 製品の安全性と品質
- プライバシーとデータセキュリティ
- 人的資本管理
- 人権尊重
- 地域社会への貢献

- 経営陣、支配株主、その他の資本提供者間の利益の調整
- 関係者間取引
- 取締役会の質、効果性、および監督
- 経営陣のインセンティブ
- 監査および会計
- リスク管理のクオリティ
- ビジネス倫理

常に高い倫理観をもち、お客さま・社会の期待に応えるガバナンス体制を整えることはお客さまの一生を支える存在である生命保険事業者として、長期間にわたる信頼を獲得し、維持するために必須の取り組みです。個人情報の保護や適切な情報開示など、生命保険事業者に求められるガバナンスの徹底に取り組んでまいります。

MESSAGE

当グループ全体として、実効性のあるグループガバナンスに継続的に取り組んでいます。

これは、当グループのビジョンに掲げる「お客さまをはじめとするステークホルダーから最も信頼され、称賛される生命保険グループになる」こと、およびミッションに掲げる

「お客さま一人ひとりに経済的な保障と心の平和をお届けする」ことを達成するために不可欠な要素であると考えています。

この取り組みの一環として、2023年に「グループサステナビリティ委員会」を設置しました。

米国の親会社プルデンシャル・ファイナンシャル・インクと連携・協働しながら、

グループ全体の持続的な成長に向けた重要な施策を推進しています。

具体的には、保険持株会社を中心となり、グループ全体としてサステナビリティ経営における方針や施策を企画・立案し、意思決定プロセスの効率化および推進スピードの迅速化を図ることで、グループ全体での推進体制を強化しています。

また、ガバナンスの根幹を成すものとして、コンプライアンス・リスク管理の強化を図っています。

具体的には、適切なコンプライアンス・リスク管理態勢を構築し、倫理的な企業行動を追求しています。

当グループにおいては、グローバル共通の行動規範により、全社員に高い倫理基準に基づいて業務を遂行することを求めています。

これにより、長期的な視点に立った持続可能な経営を可能にし、環境や社会に対しても責任ある企業市民としての役割を果たします。

グループガバナンスの一層の強化に向けて、常に改善を続け、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献し、

多様なステークホルダーからの信頼と期待に誠実に応えてまいります。



グループサステナビリティ経営推進室シニアオフィサー

坂口 哲也

特定した5つの重要テーマに基づく取り組みを、当グループ全体で着実かつ実効的に推進するため、新たなサステナビリティ推進体制を構築しました。
代表取締役社長が議長を務める「グループサステナビリティ委員会」がグループ全体の方針決定や進捗管理を担い、傘下にはテーマ別の「タスクフォース」を設置しています。
経営と現場が一体となり、サステナビリティ経営を深化させていきます。

プルデンシャル・ホールディング・オブ・ジャパン

グループ内保険会社
プルデンシャル生命 ジブラルタ生命 PGF生命

グループサステナビリティ委員会

- ・ 代表取締役社長
- ・ 関連所管部署シニアオフィサー
 - ・ グループサステナビリティ経営推進室・渉外ファンクション・総務ファンクション・人事ファンクション等
- ・ オブザーバー
 - ・ 監査役、法務ファンクション、米国親会社メンバーなど
- ・ 代表取締役社長
- ・ 総合企画執行役員

タスクフォース

- ・ グループサステナビリティ経営推進室
 - ・ 気候変動ユニット
 - ・ 人権ユニット
 - ・ 情報開示ユニット
- ・ 総合企画チーム
 - ・ コア業務の経営企画のインプットとして、グループ各社のサステナビリティ経営方針を把握
 - ・ 関連部署のサステナビリティ取り組みを統括

プルデンシャル・ホールディング・オブ・ジャパンは保険持株会社として、傘下の生命保険子会社等の経営管理及びこれに附帯する業務を行っています。
当社傘下の生命保険子会社等において営まれている主な事業内容は、以下のとおりです。

プルデンシャル・ホールディング・オブ・ジャパン

プルデンシャル生命保険株式会社

ライフプランナーによるオーダーメイドの保障を提供するコンサルティング営業

ジブラルタ生命保険株式会社

ライフプラン・コンサルタントによる教職員など全国の提携団体を通じた地域密着型の営業

プルデンシャル信託株式会社

生命保険と信託を組み合わせたサービスの提供などを行う信託専門会社



Prudential

PGF生命

銀行などの金融機関窓口で保険を販売するバンカシュアランス専門会社

プルデンシャル・ジャパン・テクノロジー株式会社

グループ全体のDXを推進するテクノロジー専門会社

ソナミラ株式会社

保険から資産形成までを扱う中立的なワンストップ金融サービス

**当グループは、各社のビジネスモデルの強みを活かしながら最適な保障と質の高いサービスをご提供し、
多様な人々に一生の安心をお届けする存在になることを目指してまいります。**

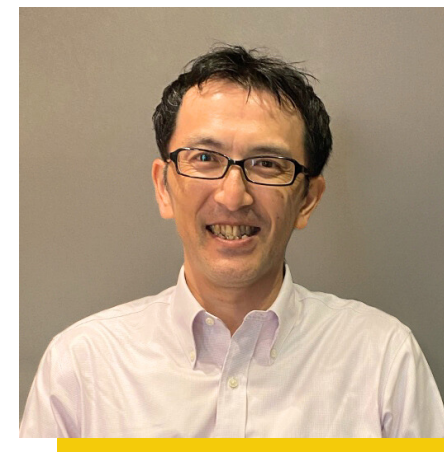
当グループでは、ニーズに合った保障プランのご提案・ご契約・お支払いといったお客さま接点における体験を改善し、生命保険事業者のなかでもトップクラスの評価をいただけてきました。一方で、デジタルネイティブ世代の台頭やアフターコロナの世界観のなかで、お客さまと当グループの関係性は常に変化し続けています。当グループはこれからも、お客さまの目線に立ってあるべき生命保険事業を追求し続け、お客さま・社会の期待に応えることを目指します。

MESSAGE

当グループは、生命保険事業を通じてお客さまに経済的な保障と心の平和をお届けすることを使命としています。一人ひとりのお客さまに寄り添ったサービスを提供し、すべてのお客さまに保険金等を確実にお支払いすることは、私たちの最も基本的かつ重要な責務であるとともに社会の持続可能性に貢献するものであり、サステナビリティ経営の一環と位置付けています。

営業社員をはじめとする一人ひとりの社員や代理店を通じた誠実なサービス提供に加え、高齢者や障がい者の方々にも安心いただけるサービスの拡充やデジタルを活用した利便性の向上などを通じて顧客体験を改善し続け、当グループのファンになっていただくことが、私たちの使命を果たすために重要であり、グループ社員一丸となって取り組んでいます。

こうした取り組みを通じて、一人でも多くのお客さまに一生の安心をお届けできるよう邁進してまいります。



総合企画ファンクション シニアオフィサー

金子 昭太



人間愛・家族愛の具現化

創業以来、「人間愛・家族愛」を基本理念としており、保険を通じて大切な人への想いを確実に届けることを重視しています。



顧客中心主義

お客さま一人ひとりの意向に沿った最適な保険商品やサービスを提供し、最善の利益を追求しています。



プロ人材のコンサルティング

保険金をお届けするまで一生涯にわたるパーソナルなサービスを提供することを使命としています。



経済的な保障と心の平和の提供

保険の目的は経済的な保障を得ることで、将来に対する不安を解消し、心の平和を享受できるようにすることであると位置づけています。



社会貢献

生命保険事業を通じて社会に貢献しようとする強い意志を持ち、社員とともに豊かな社会作りに貢献することを目指しています。



長期的な視点

お客さまのライフステージの変化に寄り添って、一生涯の安心をお届けする存在になることを目指しています。

**ライフステージやライフスタイルの変化に合わせて、
お客さまの想いと未来に寄り添い続けます。**

当グループは、「お客さま一人ひとりに経済的な保障と心の平和をお届けする」というミッションのもと、お客さまとのあらゆる接点において、より質の高い体験を提供することを目指しています。デジタル技術の活用、個別ニーズへの対応、そして共感に基づいたサポートを通じて、お客さまが安心して未来をデザインできるよう、不断の改善と革新を追求しています。

Webで完結する便利なお手続き

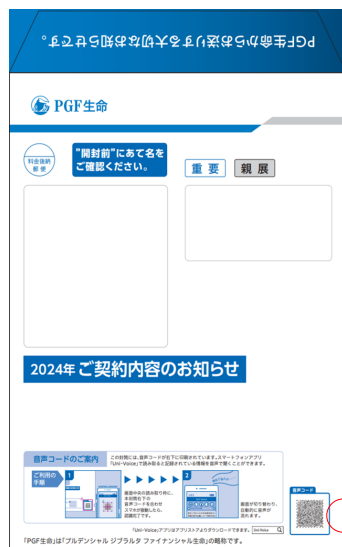
(プルデンシャル生命 / ジブラルタ生命 / PGF生命)

ご来店や郵送の手間なく、様々なお手続きがWebで完結します。
お客さま専用サイト「Myページ」ではご契約内容の確認や各種お手続きが24時間可能なほか、「保全Web」では改姓や受取人変更なども完結。
生命保険料控除証明書の電子取得にも対応し、利便性を高めています。

情報アクセシビリティの向上

(プルデンシャル生命 / ジブラルタ生命 / PGF生命)

目の不自由な方向けの音声コード「Uni-Voice」の導入や、耳や言葉の不自由な方向けの「電話リレーサービス」への対応など、情報アクセシビリティの向上を推進。
すべてのお客さまが情報から取り残されることのない、サービス利用環境の整備を進めています。



目が不自由なお客さまでも、
音声コードの場所を見つけやすくなるための目印です。

ご高齢のお客さまへ、一人ひとりに寄り添う安心サポート

(プルデンシャル生命 / ジブラルタ生命 / PGF生命)

ご高齢のお客さまが時代や環境の変化にかかわらず、安心してサービスをご利用いただけるよう、お電話から書面まで多岐にわたるサポート体制を構築しています。

・お電話でのサポート

75歳以上のご契約者さまに定期的にご連絡し、ご契約内容の確認や各種サービスをご案内する「シニアあんしんコール」を実施。専門オペレーターがゆっくり丁寧に対応する専用ダイヤルもご用意しています。

・見やすい書面でのお知らせ

年に一度お送りする「ご契約内容のお知らせ」は、文字を大きくし、見やすい色づかいに配慮したA3サイズで作成しています。ご照会の多い重要事項については、専用のサポート資料もご用意しています。

・デジタルでのフォロー

お電話での説明が分かりにくい場合には、ビデオ通話機能を用いて、画面を通じて対面のようにより分かりやすくご説明するフォローアップも行っています。

多様な家族のかたちに寄り添うために

(プルデンシャル生命 / ジブラルタ生命 / PGF生命)

多様化する社会や家族の在り方に寄り添い、すべてのお客さまへ等しく安心をお届けするため、所定の要件を満たす場合に、同性パートナーを死亡保険金の受取人にご指定いただけます。

生命保険の役割は、万一の保障を提供するだけにとどまりません。当グループは、保険の枠組みを超え、お客さまの人生をより豊かにするためのソリューションを提供することに挑戦しています。これらの取り組みは、次世代の生命保険事業者としてお客さまの多様なライフイベントを支えるという強い意志の表れです。

すべての子どもに公平なチャンス

経済的な困難など厳しい環境にある子どもたちにも、将来への夢や希望を持てる社会の実現を目指して活動する認定NPO法人「キッズドア」。当社は米国のプルデンシャル財団を通じて同団体と連携し、無料の学習支援や多様な体験の機会を提供しています。資金的な支援に加え、社員もボランティアとして活動に参加し、子どもたちの可能性を広げる取り組みを継続しています。



日米の次世代のリーダー育成を目指す

互いの文化や国を理解し、より協調的で繁栄した安全な世界への貢献と、世界中で通用する技能と国際的な視点を備えた日米の若いリーダーである「TOMODACHI世代」の育成を目指すイニシアチブを支援しています。



小さなマークに想いをのせて「ベルマーク運動」

(ジブラルタ生命)

全国の社員とその家族が日々の暮らしの中で集めた小さなマークに想いをのせて、子どもたちの教育環境を支援する草の根の活動です。

ジブラルタ生命が2011年から続けるこの取り組みは、ベルマーク教育助成財団を通じ、へき地や被災地の学校に届けられ、2024年には寄贈累計額が1億円を突破しました。



インターナショナル・ボランティア・デー

この活動は1995年に米国親会社のプルデンシャル・ファイナンシャルで始まり、2001年から日本でも活動に参加しています。

2023年には、日本のプルデンシャル・グループの社員とその家族、1万2千人以上が参加し、森林保全のための植樹や地域清掃など、全国で440を超えるボランティア活動に取り組みました。

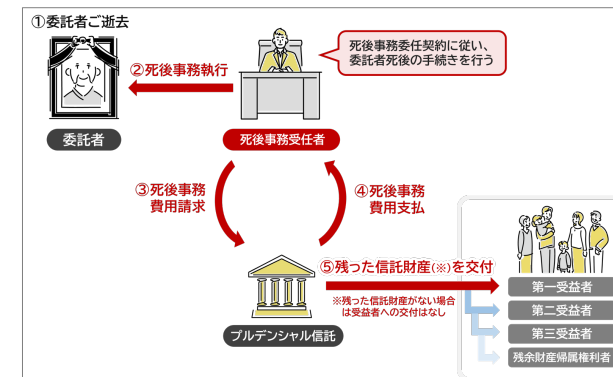


終活サポート マイ・エンディング・ケア

(プルデンシャル生命)

ご自身の万一の際に、ご家族に金銭的・手続き的な負担をのこさないためのサービスです。

生命保険が持つ「資産をのこす」機能と、プルデンシャル信託が提供する「資産を管理・活用する」機能を組み合わせ、死亡保険金を信託することで、葬儀費用や医療費、行政手続きなどにかかる費用をスムーズに支払い、手続きをサポートします。



リタイアメント・デザイン

(ジブラルタ生命)

お客さま一人ひとりの状況に合わせて、老後の生活設計や資金計画を具体的にデザインする支援を行います。

不安が先行しがちなリタイアメント後の生活に対して、具体的な計画を立てることで「新しい自分」や「ある未来」を描き、安心して老後の生活を迎えられるよう後押しすることを目的としています。

気候変動による異常気象や生物多様性への影響等の諸問題は、人々の生活を脅かし、社会の持続的発展を阻害する要因になっています。こうした課題は世界規模で深刻化しており、企業にも事業活動を通じた解決への貢献が強く求められています。生命保険事業者として、機関投資家として、自社事業はもちろんのこと、投資先への働きかけを通じて、環境負荷の低減をはじめとした持続可能な社会実現に向けた取り組みに貢献していきたいと考えています。

MESSAGE

気候変動は、私たちの社会と事業の未来に重大な影響を及ぼす課題であり、これに対する取り組みをサステナビリティ経営の中核に位置付けています。当グループは、長期的な視点で持続可能な未来を築くため、グローバルなプルデンシャル・グループとして気候変動に対する取り組みを推進しています。

温室効果ガスの排出削減に向けては、エネルギー効率の向上や再生可能エネルギーの導入を進めています。加えて、ペーパーレス化による紙資源の削減にも取り組み、森林保全に貢献するとともに、業務のデジタル化を通じてお客さまの利便性向上や迅速な対応を実現しています。

当グループでは、2024年にグループ環境方針およびグループグリーン購入基準を定め、グループ全体としての環境に対する理念と具体的な指針を明確にしました。資源の効率的な活用やリサイクルの推進、環境配慮型の素材・サービスの活用により、廃棄物の削減と環境負荷の軽減に努めています。

こうした取り組みは、私たちの事業活動を通じた地域社会や次世代に対する責任であると考えています。社員一人ひとりが環境意識を高め、具体的な行動を起こすことで、企業としての社会的責任を果たしてまいります。



グループサステナビリティ経営推進室 ファンクションリーダー
沼波 千恵

当グループがお客さまに永続的に商品やサービスをお届けし続けるためには、私たちを取り巻く環境そのものが未来にわたって持続可能であることが不可欠であると考えています。事業活動における資源の効率的な利用および廃棄物の削減を図るため、グループ共通の環境方針と、それに基づくグリーン購入基準を定めました。

グループ環境方針

01 環境に対する理念

お客さまが安心してすこやかに暮らせる環境があって初めて、真の経済的な保障と心の平和をお届けできると深く信じています。
現在だけでなく未来においても、お客さまの大切な方々への想いを確実に繋いでいくため、ビジネスパートナーと共に地球環境保護に積極的に貢献していくことを目指しています。

02 本業を通じて

環境に関する法規制を遵守し、事業活動における環境負荷の低減に努めています。
具体的には、省エネルギー、省資源、リサイクル活動を推進し、業務効率化を通じて無駄をなくすことを目指しています。
また、地球環境に配慮したサービスや、環境負荷の少ない物品の購入を通じて、持続可能な社会の実現に貢献するイノベーションを追求していきます。

03 一人ひとりの心がけを通じて

社員一人ひとりが、日々の業務、生活、そして地域社会での活動において、環境への配慮を意識した行動変容を促しています。
社員全員がこの環境に対する理念を共有し、互いにコミュニケーションを図ることで、想いをお客さまへと伝えていくことを重視しています。

グループグリーン購入基準

具体的な調達基準

環境配慮への想いを具体的な行動に移すため、以下の考え方に則り、資材などを調達します。

- (1) 長期間使用が可能なもの
- (2) 再生材料や部品を使っているもの
- (3) 再使用が可能あるいは再生可能な材質のもの
- (4) 廃棄されるときに適切な処理・処分が容易なもの
- (5) その他環境負荷が少ないもの

私たちの取り組み

このグリーン購入基準は、特定の部門だけではなく、グループ全体の業務に深く根付いています。
例えば、全社で使用する事務用品は通販サイトの環境対応品を推奨し、お客さまにお届けする商品パンフレットについても環境配慮型の素材やインクの活用を拡大しています。
さらに、封筒の窓をプラスチックから紙素材へ変更したり、再生素材を利用したノベルティを制作したりと、事業活動のあらゆる場面で環境への配慮を具体的な形にしています。

日々の業務における環境負荷の削減から、大規模な施設での再生可能エネルギーの導入、そして社員が参加する植樹活動まで、事業活動のあらゆる場面で環境貢献に取り組んでいます。手続きのデジタル化や環境配慮素材の採用といった地道な取り組みと、社会全体へインパクトを与える象徴的な活動の両輪で、持続可能な未来の実現を目指します。

環境配慮素材の採用

(ブルデンシャル生命 / ジブラルタ生命 / PGF生命)

環境負荷の低減を目指し、事業で使用する資材や備品に環境配慮素材の採用を推進しています。
再生PPや紙製のクリアファイル、窓部分に紙素材を使用した「窓あき封筒」などを導入し、プラスチックごみや温室効果ガスの排出削減に努めています。



再生PP・紙製 クリアファイル



窓あき封筒



お客さま向け広報誌

オフィスから始める、資源循環への貢献

(ブルデンシャル生命 / ジブラルタ生命 / PGF生命)

事業活動で最も多く使う紙資源の削減を推進しています。
さらに、クールビズの導入やこまめな消灯、使用済みPCのリユース、ごみの分別徹底といった社員一人ひとりの日々の心がけを通じて、オフィス全体で省エネ・省資源・リサイクルを実践しています。



溶解ボックス



食堂メニューのサインage



分別ボックス

使用電力の再生可能エネルギー化

(ブルデンシャル生命)

ブルデンシャル生命のドライデンカスタマーセンター（DCC）では、サステナビリティへの貢献を具体的な形で示す象徴的な取り組みとして、2021年9月より使用電力の100%を再生可能エネルギーへ切り替えました。
2024年時点では、風力、太陽光、バイオマスを利用した発電所から電力を調達しています。



ドライデンカスタマーセンターの外観

担当者の声



総務（DCC担当）チーム
リーダー
山内 享

温室効果ガスをほとんど排出しない再生エネルギーの活用は、地球環境への貢献になると同時に、再生可能エネルギーにかかる業界の発展にも貢献します。また、この取り組みをお客さまや地域の皆さまに知っていただくことで、企業価値の向上にもつながると考えています。
今後も、できることから一歩ずつ取り組みを進めていきます。

森林資源の保全

(PGF生命)

環境に対する理念のもと、種から苗木を育て、植樹を行っています。植樹後は苗木を育てる育樹活動に参加することで、生命をつなげることの難しさを学びながら環境保護に貢献しています。
2018年から毎年行っており、2024年は東京都八王子市「高尾小仏育樹祭」に参加しました。



担当者の声

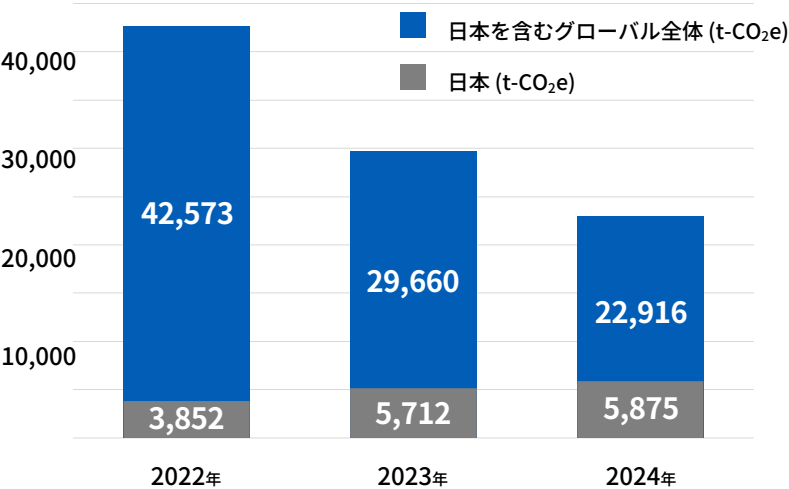


総務チーム
リーダー
東福寺 健夫

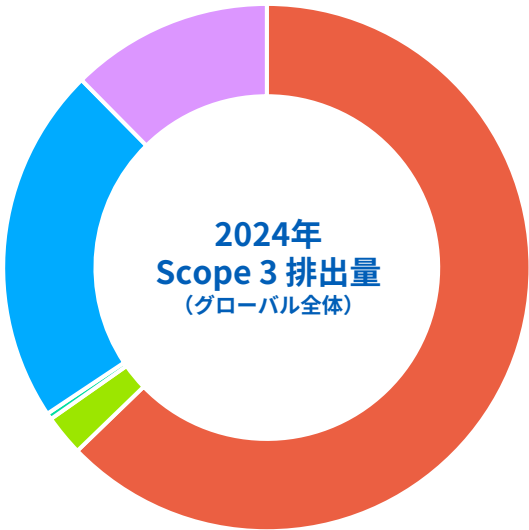
植樹活動は、光合成による二酸化炭素吸収で地球温暖化を防ぎ、土壌侵食防止や洪水リスク軽減に貢献します。また、生物多様性を守り、子どもたちに自然と環境保護の重要性を伝える貴重な体験となります。
今後もこの取り組みを継続し、次世代へ豊かな自然を引き継ぐ活動を続けていきます。

事業活動における環境負荷を継続的に測定し、その削減に取り組んでいます。
グローバルおよび日本国内における温室効果ガス（GHG）排出量の実績を管理し、透明性のある情報開示に努めています。

温室効果ガス（GHG）排出量（Scope 1 & 2）
グローバル全体と日本の排出量推移*1



温室効果ガス（GHG）排出量（Scope 3）
2024年 Scope3 排出量の主な内訳*2



カテゴリー		2024年GHG排出量 (t-CO ₂ e)
	カテゴリー1 (購入した製品・サービス)	160,391
	カテゴリー3 (Scope1,2に含まれない燃料及び エネルギー活動)	6,393
	カテゴリー5 (事業から出る廃棄物)	983
	カテゴリー6 (出張)	56,089
	カテゴリー7 (雇用者の通勤)	31,685

*1
表示されているデータは、米国、日本、ブラジルにあるホームオフィス、データセンター、ガレージを含む施設に関するものです。これらの施設は、直接的な管理監督、面積、従業員数などの要素に基づいて選定されています。

*1および2
表示されているデータは、プルデンシャル・ファイナンシャルの2024年サステナビリティレポートに基づいています。リンクは[こちら](#)



多様かつ質の高い人材の活躍による人的資本の充実

主に対話によるコンサルティングを通じて生命保険サービスを提供することで、お客さま一人ひとりに経済的な保障と心の平和をお届けすることを目指しています。コンサルティングの担い手およびその担い手を支える人材としてプロフェッショナルが活躍することは当グループが目指す姿を実現し、社会的責任を果たすために不可欠な要素と位置付けています。

MESSAGE

当グループの最大の強みは人材です。多様で質の高い人材は、当社事業の基盤であり、人材こそが企業の持続的成長の鍵となります。

取り組みのひとつに、ダイバーシティ&インクルージョン (D&I)の推進があります。

多様な背景や考え方を持つ社員がともに働くことで、新たな価値が創出され、組織全体がより強固になると考えています。

そのため性別、年齢、国籍、障がいの有無にかかわらず、すべての社員が活躍できる環境づくりに取り組んでいます。

また、社員が健康で充実した生活を送れるよう、ワークライフバランスの実現にも積極的に取り組んでいます。

柔軟な勤務形態の導入やリモートワークの推進、メンタルヘルスサポート体制の強化など、

社員が働きやすい職場環境を整えることで、社員満足度と生産性の向上を図っています。

将来に向けては、持続可能な人材育成も不可欠です。

私たちは社員の成長を会社の成長と捉え、さまざまな研修プログラムやキャリア開発の機会を提供しています。

自らのキャリアビジョンを描き、実現に向けて努力できる環境を整えることで、組織全体のイノベーション力を高めていきます。

社員が安心して働け、能力を最大限に発揮できる職場環境をつくることが私たちの使命です。

私たちはこれからも、「タレント」を核としたサステナビリティの実現に挑戦し続けます。



人事ファンクション シニアオフィサー
ダニエル・ワインバーガー

プルデンシャル・グループは、事業に関わるすべての人の人権を尊重することが、経営の根幹をなす重要な要素であると考えています。国際社会の一員として責任を果たすため、明確な方針を掲げ、サプライチェーン全体でその理念を共有する具体的な取り組みを開始しました。



グループ人権方針の策定

企業に人権尊重が強く求められる社会的背景を踏まえ、2024年3月に「グループ人権方針」を制定しました。本方針は、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」などの国際規範を支持し、強制労働や人身売買、差別、ハラスメントなど、いかなる人権侵害にも関与しないという私たちの断固たる姿勢を表明するものです。

グループサプライヤー行動規範の制定

人権尊重の取り組みをサプライチェーン全体へと広げるため、「グループサプライヤー行動規範」を制定しました。本規範は、委託先の皆様に期待する倫理的・人道的なビジネス慣行（公正な労働、贈収賄防止、環境配慮など）を具体的に定めています。皆様と価値観を共有し、ともに持続可能な社会を目指します。

委託先への賛同を求める活動

「グループサプライヤー行動規範」の実効性を高めるため、2024年6月より、業務委託先を対象に本規範へのご賛同をいただく活動を開始しました。規範と確認票をお渡しし、署名をいただくプロセスを通じて対話を促進。サプライチェーン全体での人権意識の向上とリスクの低減を図ります。

社員こそが企業の持続的な成長を支える最も重要な財産であると考えています。一人ひとりがプロフェッショナルとして成長するための人材育成・キャリア開発を支援するとともに、心身ともに健康で生き生きと働ける環境を整備する「健康経営」を両輪で推進しています。

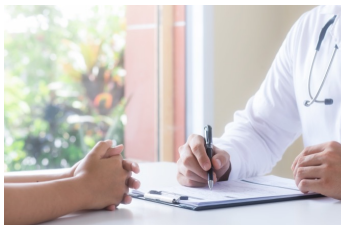
成長を支える人材育成とデジタルツールの活用

社員の成長と組織力の向上を目的に、人材育成とデジタル活用を推進しています。
オンライン学習プラットフォームで社員の自律的なスキル習得を促す一方、タレントマネジメントシステムで個々のスキルやキャリア志向を活かした最適な人材配置・育成を実現。
さらに、グループ合同の管理職研修を通じて、リーダーシップ開発にも注力しています。



社員の健康増進を担うグループ全体の推進体制

社員の健康を経営の重要事項と位置づけ、グループ全体で推進しています。
健康診断100%受診を目標に掲げるほか、ストレスチェックなどを通じて、メンタルヘルスケアにも積極的に取り組んでいます。
社員が安心して長くキャリアを継続できる環境を目指します。



エンゲージメントサーベイ

社員のエンゲージメントとインクルージョン度合いを客観的に把握するため、「エンゲージメントサーベイ」を定期的実施しています。社員が企業文化やリーダーシップをどう捉えているかを理解し、今後の人事戦略や施策立案の重要な情報源として活用しています。

2024年版 従業員エンゲージメント・グローバル調査

2024年にはグローバルで働く従業員34,544人を対象とした従業員調査を実施し、89%にあたる30,625人から回答を得ました。



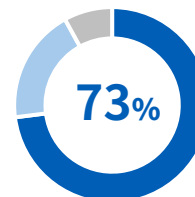
調査国数

26ヶ国



言語

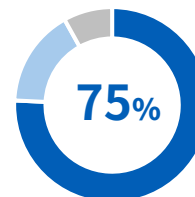
7言語



エンゲージメント指数

従業員のエンゲージメント指標の平均好感度スコア
(対象となる側面：職務満足度、支持度、自主的な努力、離職意向)

■ 肯定的：73% ■ 中立：19% ■ 否定的：8%



インクルージョン指数

職場のインクルーシブな環境を反映するさまざまな側面に対する「好意的な回答」の平均スコア
(対象となる側面：コミュニケーション、信頼関係、成長機会など)

■ 肯定的：75% ■ 中立：16% ■ 否定的：8%

多様なバックグラウンドを持つ社員が互いの価値観を尊重し、能力を最大限に発揮できる企業文化の醸成が、持続的な成長とイノベーションの源泉であると考えています。D&Iを経営の最重要課題の一つと位置づけ、多様な働き方やキャリア形成を支援する具体的なプログラムを推進しています。

ダイバーシティ宣言

当グループ各社のトップが共同で「ダイバーシティ宣言」を発表しています。ダイバーシティ&インクルージョン関連の広報誌の発行や合同セミナーの開催など、グループ一丸となって多様化推進に取り組んでいます。



ダイバーシティ宣言

The Power of People, The Power of Diversity
～人材の力を最大化し、違いを活かしていく～

日本におけるプルデンシャル・グループは、人材の力によって業界に変革をもたらしてきました。

私たちを取り巻くビジネス環境は日々変化し、お客さまのニーズも多様化しています。これらの変化に迅速かつ柔軟に対応していくためには、新しいアイデアを積極的に経営に取り入れていくことが必要不可欠です。

そのため、プルデンシャル・グループは、ダイバーシティ&インクルージョン（多様性の受容）をビジネス戦略の一つとして推進し、社員一人ひとりが自らの能力を最大限に発揮し、活躍できる環境づくりに取り組めます。

プルデンシャル・グループには共通のコアバリューがあります。中でも“お互いに尊敬しあうこと”は、ダイバーシティ&インクルージョンの土台です。

私たちは、多様な社員が互いに尊重し協働する企業風土を醸成することによりイノベーションを生み出し、お客さまに最高のサービスを提供し、地域社会に貢献していきます。

濱田 元房 代表取締役社長兼COO プルデンシャル・グループ 代表取締役社長兼COO	間原 寛 代表取締役社長兼COO プルデンシャル・グループ 代表取締役社長兼COO	黒木 広義 代表取締役社長兼COO プルデンシャル・グループ 代表取締役社長兼COO
得丸 博光 代表取締役社長兼COO プルデンシャル・グループ 代表取締役社長兼COO	永田 元久 代表取締役社長兼COO プルデンシャル・グループ 代表取締役社長兼COO	河本 恭宏 代表取締役社長兼COO プルデンシャル・グループ 代表取締役社長兼COO
石井 健 代表取締役社長兼COO プルデンシャル・グループ 代表取締役社長兼COO	石井 健 代表取締役社長兼COO プルデンシャル・グループ 代表取締役社長兼COO	石井 健 代表取締役社長兼COO プルデンシャル・グループ 代表取締役社長兼COO



多様性の受容

社員がそれぞれの能力を最大限に発揮し、活躍できる環境を整えるため、様々な取り組みを推進しています。

プルデンシャル生命：女性営業管理職の働きがい向上を目的に、クロスメンタリングプログラムを開始
ジブラルタ生命：オンラインLGBTQ研修の実施、社内ダイバーシティ&インクルージョンフォーラムを開催
PGF生命：更年期障害やメンタルの不調との向き合い方をテーマとするセミナーを実施



D&I勉強会の様子（ジブラルタ生命）

障がい者支援とインクルーシブな職場環境の醸成

障がいのある社員がその能力を最大限に発揮できるインクルーシブな職場環境づくりに取り組んでいます。

プルデンシャル生命の特例子会社であるプルデンシャル・ジェネラル・サービス・ジャパン有限会社（PGSJ）が運営する「菓子工房WITH」では、障がいのある社員が仕事を通じて自立と社会との関わりを深めています。ジブラルタ生命では、障害のある社員一人ひとりの得意分野を活かし、社内のどこでも活躍できる環境の整備を進めています。

また、年次の「障がい者週間フォーラム」などを通じて、障がいに対する理解を含め、すべての社員が働きやすい環境の実現を目指しています。



菓子工房WITH

ワークライフバランス

多様な人材が活躍するためには、多様な働き方が受容されること、ワーク・ライフ・バランスが整っていることが重要と考えています。当グループでは、社員一人ひとりのワークとライフの充実を支援するため、制度の整備や環境づくりに取り組んでいます。

各種勤務制度

社員のワーク・ライフ・バランス向上や、育児・介護との両立を支援するため、フレックスタイム制、時差出勤制、時短勤務、時間単位有給休暇制度を導入しています。

柔軟な働き方

より柔軟で生産性の高い働き方を実現するため、場所にとらわれず勤務できる在宅勤務制度を導入しています。

少子高齢化・人口構成、ライフスタイルの変化は、当グループとしてこたえるべきお客さまニーズがこれまで以上に多様化することを意味しています。こうした中で、当グループが社会的責任を果たすために、医療・第三分野保険の提供や新たな付加価値の提供など、保険サービスの進化を続けることで、お客さま・社会の期待に応えていくことを目指します。

MESSAGE

当グループにとって、サステナビリティは単なる象徴的な取り組みではなく、
私たちの中核理念とイノベーション文化に深く根ざした、リーダーシップ主導の重要な責務です。
設立以来、私たちは創業の精神を貫いてきました。
それは、慣習に挑戦し、誠実さをもって社会に貢献し、目的を持って進化していくことです。
この理念は、私たちがお客さまに価値を提供し、地域社会と関わり、ビジネスを変革していく方法を根本的に形作っています。

サステナビリティとイノベーションは切り離せないものです。
私たちのNorth Star（目指す姿）は、ますます多様化・複雑化する社会において、経済的な豊かさを提供することです。
これを実現するには、サプライヤーや社内オペレーション、販売代理店、お客さまなど、
バリューチェーン全体にわたる変革が不可欠です。
加えて、AIの進化や脱炭素社会の到来を見据え、こうした変化に伴う機会とリスクを責任ある形で管理することが求められます。

私たちの使命は、すべてのステークホルダーにとって長期的な価値を創造し、社会のより良い発展に
意義ある貢献をすることです。明確な目的意識を持ち、私たちの基盤となる価値観と、
持続可能な未来を築くという深い責任感に常に導かれながら、革新を続けていきます。



チーフ・ストラテジー・オフィサー
オペレーションファンクション、総合企画ファンクション、グループ戦略推進室、
広報ファンクション、総務ファンクション
ブルーノ・ケルン

少子高齢化やライフスタイルの変化といった社会的な要請に応えるため、従来の保険サービスの枠組みを超えた新たな付加価値の提供や、顧客体験の変革に挑戦しています。

社員のデータリテラシー向上

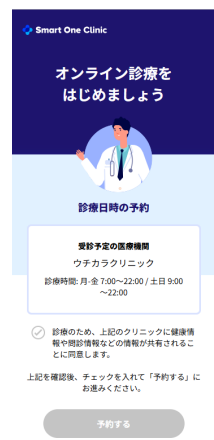
お客さまに更なる価値を提供し、お客さまから選ばれ続ける企業を目指すためには、社員一人ひとりの成長が欠かせません。変化の激しい時代において将来を見通すことが難しい状況では、日々の業務におけるデータ利活用が鍵を握ります。グループ合同トレーニングの実施や、社内ニュースレターの発行を通じて、客観的なデータに基づく分析力・判断力の向上を目指しています。



加入者向けヘルスケアサービスの拡充

(プルデンシャル生命 / PGF生命)

ご契約者さま向けオンライン診療サービスや、ご家族にもご利用いただける付帯サービス等、保険の枠を超えた健康増進サービスを開発・提供し、お客さまとの新たな接点を創出しています。



ソナミラ株式会社の挑戦

お客さまの多様化・複雑化するニーズに応えるため、2022年にソナミラ株式会社を設立しました。特定の金融機関に属さない中立的な立場から、生命保険に加えてNISAや投資信託なども含めた「ワンストップ金融サービス」を提供。保険による万への「備え」と、資産形成による豊かな「未来づくり」を一つの窓口でサポートし、新たな顧客価値を創造します。



プルデンシャル・テクノロジーとして新たなスタート

当グループ全体のIT競争力を強化するため、テクノロジーの力でプルデンシャル・グループを支えるプルデンシャル・システムズ・ジャパン株式会社を子会社化し、社名をプルデンシャル・ジャパン・テクノロジー株式会社に変更しました。先進技術の活用や効率化を加速させることで、お客さまへのさらなる価値提供を目指します。



JAPAN
TECHNOLOGY

生命保険事業者の使命は、人々の経済的な安心を支えることです。その責任を社会全体で果たすため、長年培ってきた金融の知見を活かし、幅広い世代に向けた金融経済教育を体系的に提供しています。子どもや若者たちが、自らの力で未来を切り拓くための「生き抜く力」を育むことを目指します。

多様な世代に届ける「金融教育セミナー」

(プルデンシャル生命 / ジブラルタ生命)

一人ひとりが自律的にライフプランを描く重要性が増す中、その土台となるのが金融リテラシーです。私たちは、生命保険事業者として培ってきた知見を社会に還元するため、小学生からシニア層に至るまで、あらゆる世代のニーズに応じた金融教育セミナーを全国で展開しています。

子どもたちにはお金の大切さを伝える基礎教育を、学生には将来のキャリアデザインを、そしてお客さまや社会人の皆さまには実践的な資産形成やリスク管理の知識を、金融のプロフェッショナルが分かりやすく提供します。

未来のプロフェッショナルへ「大学での寄付講座」

(プルデンシャル生命)

次代を担う若者たちが、社会に出てから直面する現実の世界で活躍できるよう、学問と実務の橋渡しとなる教育機会の提供も私たちの重要な責務です。全国の大学と連携し、プルデンシャル生命の社員が講師として登壇する寄付講座や特別講義を実施しています。

ここでは、単なる商品説明に留まらない、お客さまの人生に深く寄り添い、信頼関係を築く「営業」という仕事の社会的意義やプロフェッショナリズムについて、社員自らの成功体験や困難を乗り越えた経験を交えながら伝えています。学生たちが自らのキャリアを深く考えるきっかけを創出し、未来のプロフェッショナル育成に貢献しています。



子どもたちを応援する「Magic of the Dream」

(ジブラルタ生命)

ジブラルタ生命は「Magic of the Dream」という名称のもと、未来を担う子どもたちの夢や希望を応援する活動に取り組んでいます。その活動の中心にあるのが、全国47都道府県を巡り、小学生を対象にスポーツや文化活動の教室を開催する「ドリーム・スクール・キャラバン」です。さらに、国際的なイベント「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」を2012年から支援するなど、全国各地の社員がボランティアスタッフとして積極的に関わり、子どもたちにエールを届けています。



笑金プロジェクト (すまいるマネープロジェクト)

(ジブラルタ生命)

吉本興業との協業により、金融教育にかかわる番組配信（「開校！笑金スクール！」）や、中学生を主な対象とした金融教育コンテンツの開発、コラボレーションセミナーなどを展開します。エンターテインメントの要素を取り入れ「お金の勉強ってこんなに面白いんだ」と思ってもらえるようなコンテンツやセミナーを通じて、将来にわたり金銭面で悩むことなく安心して過ごせる社会の実現を目指します。



環境データ

項目		単位	2022	2023	2024
GHG排出量 Scope1&2 グローバル ^{*1}	マーケットベース	t-CO2e	42,573	29,660	22,916
	ロケーションベース	t-CO2e	43,076	39,012	33,608
GHG排出量 Scope1&2 日本 ^{*2}	マーケットベース	t-CO2e	3,852	5,712	5,875
	ロケーションベース	t-CO2e	3,852	5,712	6,339

^{*1}および^{*2}
・表示されているデータは、米国、日本、ブラジルにあるホームオフィス、データセンター、ガレージを含む施設に関するものです。これらの施設は、直接的な管理監督、面積、従業員数などの要素に基づいて選定されています。
・表示されているデータは、ブルデンシャル・ファイナンシャルの2024年サステナビリティレポートに基づいています。リンクは[こちら](#)

社会データ

項目			2024
従業員数 (人)	ブルデンシャル生命	内勤社員	1,614
		営業社員	5,005
	ジブラルタ生命	内勤社員	4,148
		営業社員	7,797
	PGF生命	内勤社員	974
平均年齢 (歳)	ブルデンシャル生命	内勤社員	41.5
		営業社員	42.1
	ジブラルタ生命	内勤社員	47.0
		営業社員	48.0
	PGF生命	内勤社員	46.2
採用数 (人)	ブルデンシャル生命	内勤社員	102
		営業社員	546
	ジブラルタ生命	内勤社員	118
		営業社員	1,101
	PGF生命	内勤社員	12
平均勤続年数 (年)	ブルデンシャル生命	内勤社員	10.7
		営業社員	10.9
	ジブラルタ生命	内勤社員	17.0
		営業社員	12.0
	PGF生命	内勤社員	9.3

社会データ

項目			2024
女性社員比率 (%)	ブルデンシャル生命	内勤社員	53.7
		営業社員	52.6
	ジブラルタ生命	内勤社員	60.6
		営業社員	19.9
		営業グレード社員	46.2
女性管理職比率 (%)	ブルデンシャル生命 ^{*3}		34.3
	ジブラルタ生命		20.6
	PGF生命		24.5

^{*3} 2025年4月1日時点の数値です。

ガバナンスデータ

項目			2024
取締役会の構成 ^{*4}	ブルデンシャル・ホールディング	取締役・監査役	19
		うち女性取締役・女性監査役	2
	ブルデンシャル生命	取締役・監査役	20
		うち女性取締役・女性監査役	1
	ジブラルタ生命	取締役・監査役	17
		うち女性取締役・女性監査役	2
	PGF生命	取締役・監査役	15
		うち女性取締役・女性監査役	1
内部通報窓口 相談件数 (件) ^{*5}	ブルデンシャル生命		129
	ジブラルタ生命		232
	PGF生命		8

^{*4} 2024年7月1日時点の数値です。

^{*5} 社内外に設置された内部通報窓口への通報・相談件数の2024年度における合計値です。

本レポートは、当グループのサステナビリティ経営や取り組みについて、お客さま、ビジネスパートナー、社員、地域社会をはじめとするステークホルダーの皆さまに分かりやすくお伝えすることを目的に作成しています。本レポートを通じ、サステナビリティ経営に関する方針や体制に加え、5つの重要テーマに沿った具体的な取り組み事例をご紹介しますとともに、継続的に情報開示の充実を図ってまいります。

報告対象範囲

報告対象期間 2024年度の活動を中心に報告していますが、一部対象期間外の活動内容も明示して掲載しています。

報告対象組織 プルデンシャル・ホールディング・オブ・ジャパン株式会社および、傘下の主要なグループ会社を対象としています。
(プルデンシャル生命保険株式会社、ジブラルタ生命保険株式会社、プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社 等)

発行時期

2025年9月

GHGデータ収集期間

本レポートに記載されている温室効果ガス（GHG）排出量データは、2024年1月1日から2024年12月31日までの期間を対象としています。

アクセシビリティへの配慮

本レポートでは、可読性の高いフォント、色彩、デザインへの配慮を通じて、分かりやすさを追求しています。

イラストについて

本レポートのP2・P31に挿入しているイラストは、当グループで働く、障がいのあるスタッフが作成しました。
D&I（ダイバーシティ＆インクルージョン）を推進する当グループの姿勢を象徴するものです。

お問い合わせ先

プルデンシャル・ホールディング・オブ・ジャパン株式会社 グループサステナビリティ経営推進室



「未来につなぐサステナビリティ」

プルデンシャル・グループでともに働く障がい者の方が持続可能な未来をイメージして描いた作品です。
個性と創造性が表現された作品は、多様性と共生の大切さのメッセージがこめられています。